

# 一般質問

# 市民の声を代表して 20人が質問

議会には、議員が、市長などに対し、市の仕事の状況や将来の方針などを質問する一般質問があります。今回の定例会には20人の議員が、皆さんの声を代表して熱弁を振るいました。また、取手市議会では、1問ずつ質問をして、その都度答弁を受ける一問一答制を採用しています。



取手駅西口傷害事件現場

## 質問直後に 事件が：

吉田 宏 議員

私が、取手駅前での安心安全の一般質問を行った昨年12月2日の2週間後、悲しくも取手駅西口前で傷害事件が起きた。質問後、どのような対応をされたのか。市長 防犯に関しては、役所の中だけでなく、地域の防犯関係の諸団体が、普段から粘り強くいろいろな取り組みを重ねてきていただいている。

質問後、年末には、取手駅、青柳、藤代で防犯連絡員協議会の皆様にお声掛けをして防犯活動を実施した。

また、2月2日には、茨城県警本部を訪問し、取手駅周辺の安全対策強化などを要望してきた。取手駅に交番が新設される旨の報告を受けている。

今後とも、取手駅周辺はもちろん、市内全域、防犯



## 市営交番 「まちばん」設置を

染谷 和博 議員

体制の整備充実を図り、完全安心のまちづくりを進めていきたい。  
総務部長 青色パトロールの資格取得のため全職員に研修を働き掛けた。取手駅東口ロータリーにLED電灯を設置した。

問 平成21年12月定例会において、市営交番設置、24時間体制の交番設置を求めたが、当時は「検討する」との答弁だった。現在の取り組み状況を伺う。  
市長 23年度から25年度の茨城県警察施設再編整備計画に取手駅に交番を新設する案が盛り込まれると報告を受けている。

問 25年と言わずに、すぐにできるようにしっかりとしたい。  
次に、市営交番「まちばん」設置はどうなっているか。

総務部長 警察官OBの方々の協力が一番問題になる。警察署の協力を得ながら検討していきたい。

問 取手駅が茨城県警で対応するのであれば、中央タウンや藤代駅に「まちばん」を考えてほしい。  
総務部長 十分精査して検討したい。

## 一元代表制の視点から 早期制定を！

貫井 徹 議員

問 磯崎初仁中央大学教授は「議会基本条例で議会の役割や住民との関係を明確化することは重要」と指摘した。地方自治は住民自治を実現することだ。早稲田大学調査で議会改革度総合ランキングで、取手市議会が茨城県第1位、全国自治体で第22位と発表された。  
議会が推進する議会改革、市長が推進する行財政改革が車の両輪として前進することが二元代表制だ。

議会運営の理念と原則を条文化した地方議会の憲法といえる『議会基本条例』と行政運営の理念と原則を条文化した『自治基本条例』の早期制定が肝要だ。

公明党市議団は市長に早期制定を申し入れた。二元代表制の視点から市長の見解を問う。

市長 自治の最高法規である自治基本条例の意義は非常に大きい。具体的な内容をよく研究、検討したい。

## 藤井市長の 4年間を振り返る

佐藤 隆治 議員

問 藤井市長は、しがらみを一掃し、市民主体のまちづくりを訴え、多くの市民から期待と重い負託を受け、市政のかじ取り役を任せられた。この4年間を振り返って、成果や課題を伺う。  
市長 財政構造改革アクションプランを策定し、効率化を進める一方で、入札改革を実施。

計画的、積極的産業支援として、国土利用計画や都市計画マスタープランの作成、市街化調整区域の中でも例外規定を設けるなど活性化を考えた。  
市内で定期的な朝市の開催により、農産物の生産者自身による販売については、かなりの成果が出ている。道の駅は、これからしっかりと取り組みたい。

福祉の充実としては、保育所で完全給食を実施。保育所や放課後子どもクラブにエアコン設置など行った。